

# 陸

## 本州と九州の結節点 / 北九州貨物ターミナル駅

(門司区大里新町11-3)

コンテナ貨物取扱量  
全国  
**第8位**  
(2023年度)



### 海運とも連携!

北九州港へ輸入された海上コンテナを、積替え作業を行うことなく貨物列車へ積載する一貫輸送も行われています。

ココがすごい!

- 鹿児島本線と日豊本線の中継点となっており、九州と本州を結ぶ全ての貨物列車が停車
- 九州で唯一、24時間体制で営業しており、発着本数は上下線合わせて1日64便と九州で最多



- 貨物列車は1編成(26両)で10tトラック65台分の輸送能力がある
- 鉄道貨物輸送のCO2排出量(輸送単位当たり※)はトラックの約10分の1  
※1トン(t)の貨物を1km輸送した時に排出するCO2の量



産業経済局物流拠点推進室 ☎582・2296

# 海

## 国際拠点港湾 / 北九州港

ココがすごい!

- 「太刀浦(門司)」と「ひびき(若松)」の東西2つのコンテナターミナル、西日本最大のフェリー基地「新門司」などの充実した施設
- フェリーが6航路、RO-RO船(貨物専用船)が2航路就航。行先は首都圏、関西圏、中部、四国、沖縄と多岐にわたる



### 新門司・小倉 フェリーターミナル

新門司から関西・首都圏に毎日6便、小倉から四国に隔日1便の定期船が就航

フェリー貨物取扱量  
全国  
**第2位**  
(2023年度)



### 長距離フェリー発祥の地

昭和43年(1968年)、小倉-神戸間に日本初の長距離フェリーが就航しました。

NEWS

### 青果物の物流拠点が完成

昨年10月、北九州中央卸売市場(小倉北区西港町)内に九州の青果物の集約拠点が作られました。ここからフェリーを利用して関東などの大都市圏に青果物が輸送されています。



### 太刀浦・ひびき コンテナターミナル

中国・韓国・台湾・東南アジアに36航路、月間158便の定期コンテナ船が就航

外貨コンテナ貨物取扱量  
全国  
**第7位**  
(2023年度)

太刀浦コンテナターミナル



### コンテナの中は...

ものづくりのまち・北九州らしく、輸出はゴム製品や産業機械など、輸入は自動車部品や家具などが多いです。

海上輸送のCO2排出量(輸送単位当たり)はトラックの約5分の1



ひびきコンテナターミナル

港湾空港局物流振興課 ☎321・5941

# 空

## 物流拠点空港を目指す / 北九州空港

国際貨物取扱量  
全国  
**第6位**  
(2023年度)

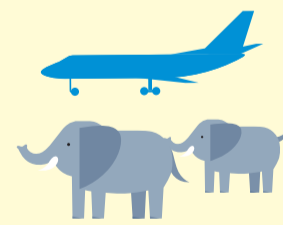
ココがすごい!

- 九州・中四国で唯一の24時間利用可能な海上空港
- 九州で唯一、貨物専用の定期便が就航



### ゾウも運ぶ!

今年7月、ミャンマーから福岡市動物園へのゾウ4頭の受け入れに当たって、目的地に一番近く貨物専用機が就航可能な空港として、北九州空港が利用されました。



### 国際貨物定期便

〈仁川(韓国)⇄北九州〉週3便  
〈深圳(中国)⇄関西国際⇄北九州〉週5便

### 国内貨物定期便

〈羽田・成田⇄北九州〉 毎日6便  
〈那覇⇄北九州〉

8月から深夜・早朝便が就航し、4便から6便に増便されました!



### 空港の魅力アップに取り組んでいます!

- ▶ 空港アクセスの強化 (エアポートバスの増便など)
- ▶ 空港の魅力向上(イベント実施など)
- ▶ 路線の維持・拡大

NEWS

### 滑走路延長 2027年8月使用開始予定



現在は成田や関西を経由している欧米への大型貨物便の就航が可能になることで、輸送時間の短縮やコスト削減、北九州空港の物流拠点化と地域経済発展に大きく寄与することが期待されます。

港湾空港局空港企画課 ☎582・2308

※就航数などは令和6年9月1日現在